

ことばの教室の教育DX：構音障害の改善に向けた連携の在り方

GIGAスクール構想下における
家庭・外部専門家・担当者の協働の形



新潟県長岡市立新町小学校 教諭 高松 敏之
第65回 全日本特別支援教育研究連盟全国大会新潟大会
第11分科会：通級による指導（言語障害・通級）

Gemini Notebook

1

I 実践にあたって



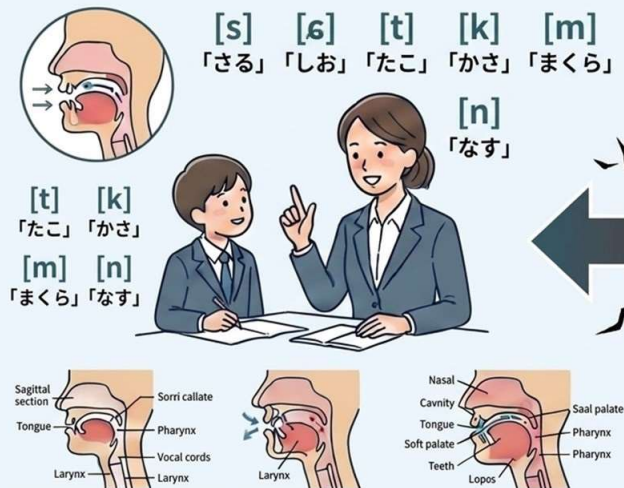
Gemini Notebook

2

【課題①】 構音指導の専門性と担当者の不安

構音指導は専門性が高く、担当者の経験により指導の質に差が生じやすい

求められる高度な専門性



現場のサポート不足と孤立



3

【課題②】 通級頻度が限られる事例や自校通級への対応

通級頻度が限られる事例や保護者の授業同席が困難な事例では指導の定着に課題があった

【学校】 ことばの教室への通級頻度が少ない・日中のため保護者の授業同席が困難



【家庭】
「どんな課題に取り組ませてもいいかわからない」
「正しい手本がわからない」

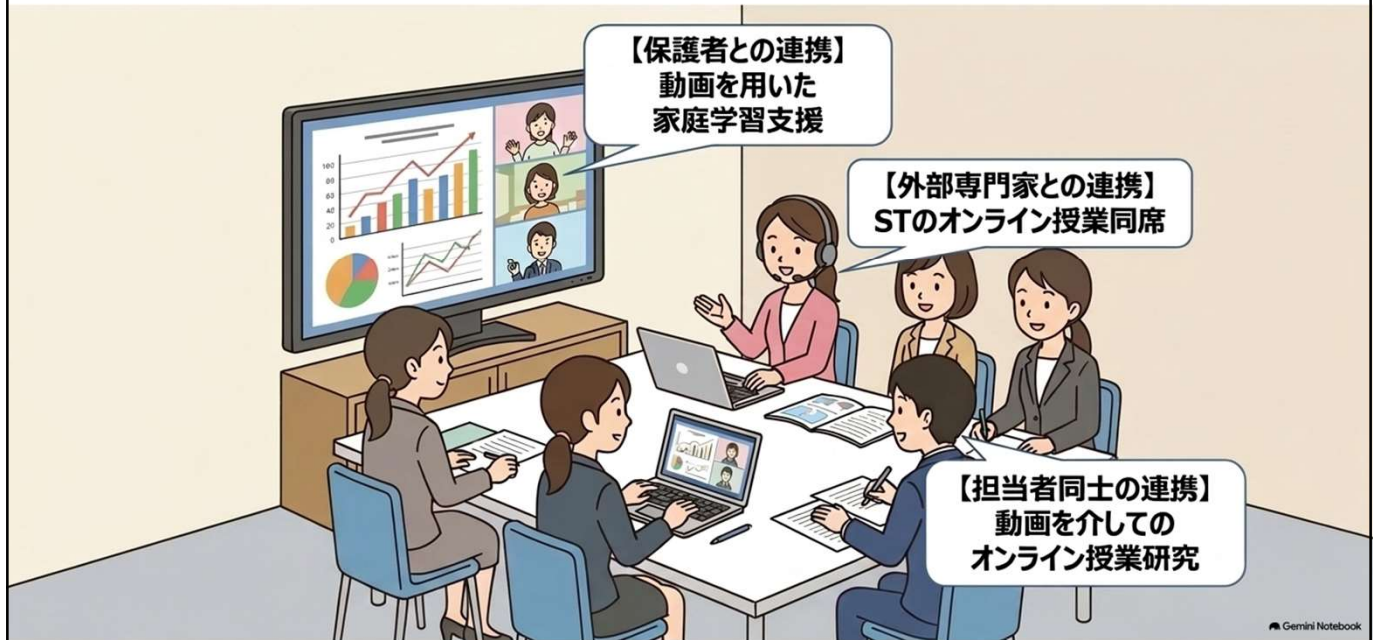


課題の共有不足 → 家庭学習の質低下
指導の定着を阻む分断の壁

4

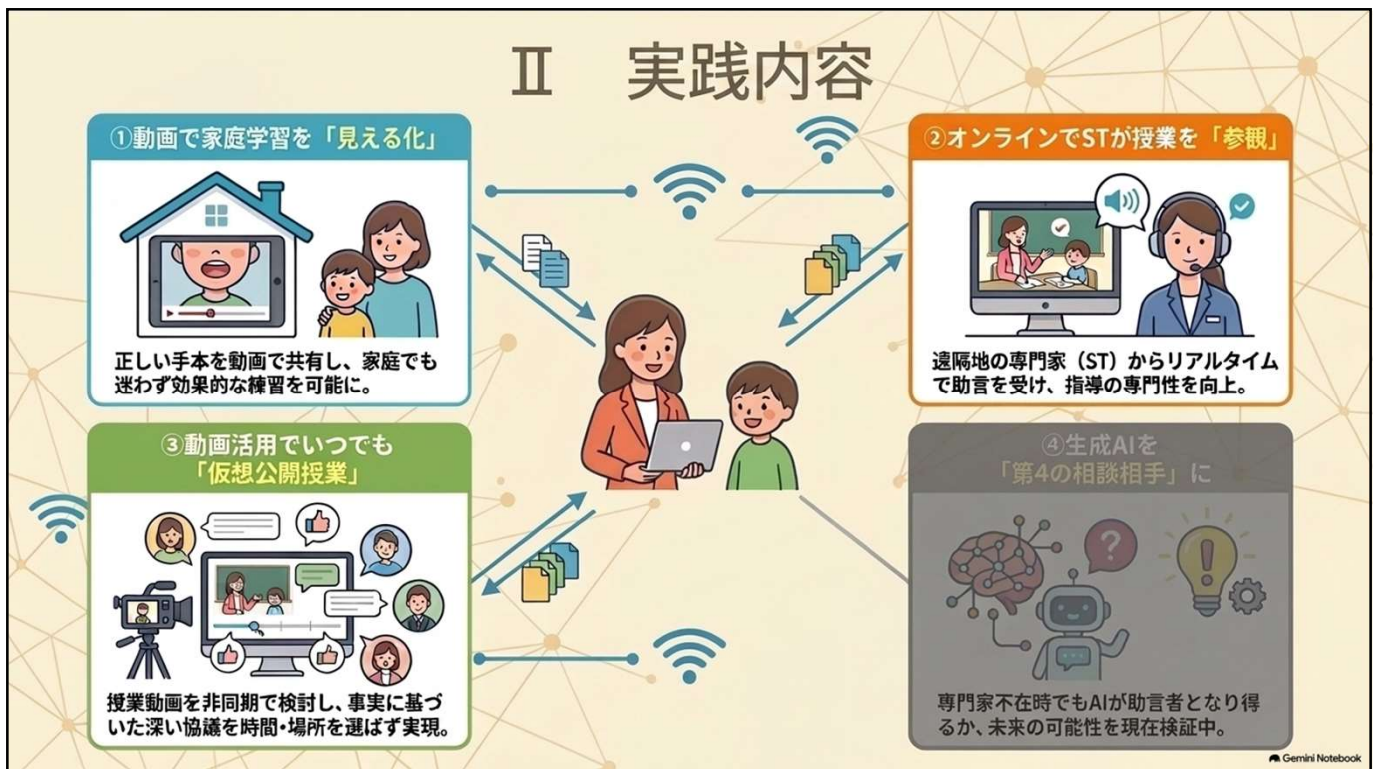
【実践のねらい】 ICTを活用した3つの連携

GIGAスクール構想により劇的に進化したICT環境を活用し、多角的なアプローチで構音指導の課題解決を探索



5

Ⅱ 実践内容



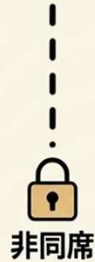
6

【視点1】保護者との連携

保護者が授業に同席できない場合、
家庭で適切な手本（モデル）を示すことは困難だった



構音指導：担当者が音声等のモデルを示して児童に模倣させることが基本



保護者が授業に非同席の場合、家庭で適切なモデルを再現することが難しい

Gemini Notebook

7

【視点1】保護者との連携

課題を動画でやり取りすることで、
家庭でも正しいモデルによる練習を可能にする

- ✓ 教育用グループウェアを用いて、課題の「音声」や「舌の動き」を示す動画を共有
- ✓ 保護者が担当者の意図を視覚的・直接的に理解し、正しく家庭練習に取り組める環境を整備



Gemini Notebook

8

【視点1】保護者との連携

誤学習の早期修正や通級頻度が少ない事例への支援、さらには特別支援学級との連携が実現



動画のやり取りを通して「誤学習」を早期発見・修正することに寄与



通級頻度が限られる児童が「現在の状態に合った適切な課題」に継続して取り組めた



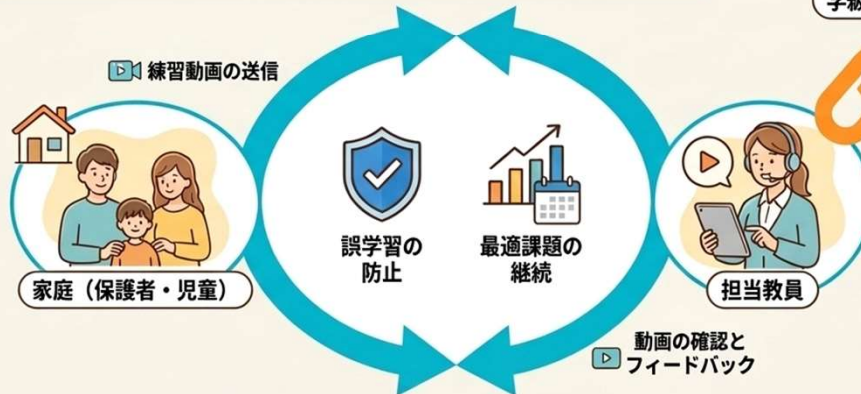
特別支援学級在籍児童の指導において「学級担任」とも同様の手法で連携



学級担任（特別支援学級）



指導手法と
情報の共有



Gemini Notebook

9

参考資料

2025年度Panasonic教育助成
実践 1 4 事例



デジタルテレビへの
映像投影マニュアル



上記の資料は、2026年10月末まで公開予定です。

10

【視点2】 外部専門家との連携

オンライン会議システム（Zoom）を活用し、
遠隔からでもSTが授業へ同席する仕組みを構築



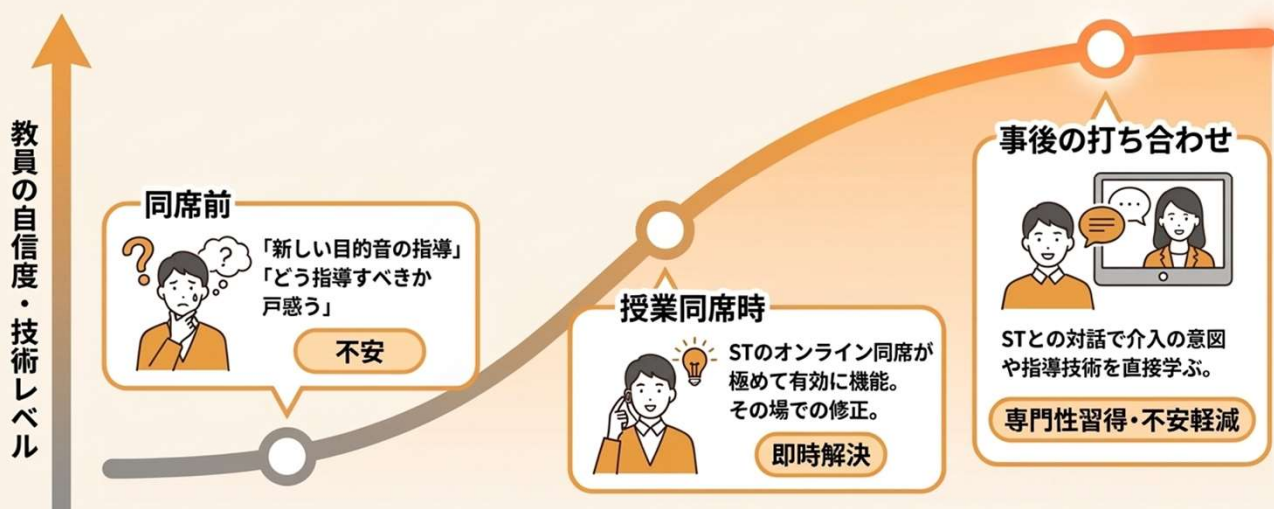
指導経験の浅い担当者の専門性向上を強力にバックアップ

Gemini Notebook

11

【視点2】 外部専門家との連携

指導に迷う場面での即時介入と、事後対話を通じた実践的な専門性習得



Gemini Notebook

12

参考資料

2025年度Panasonic教育助成 実践 2 4 事例



上記の資料は、2026年10月末まで公開予定です。

13

参考資料

2024年度Panasonic教育助成 成果報告書



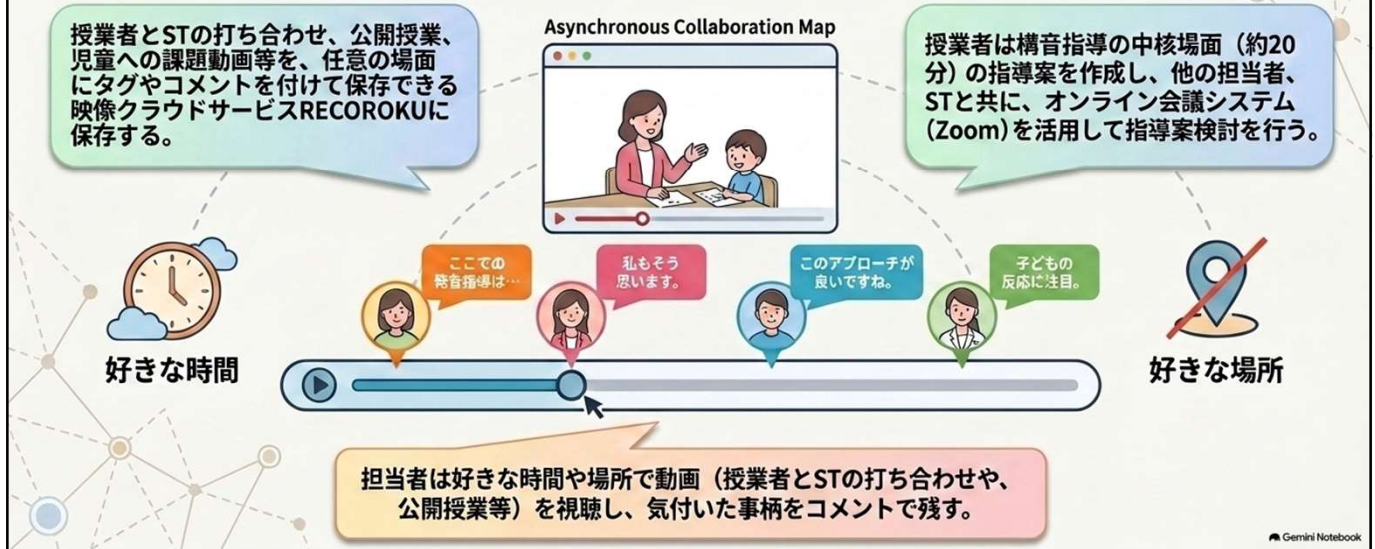
2025年度Panasonic教育助成 成果報告書



14

【視点3】 担当者同士の連携

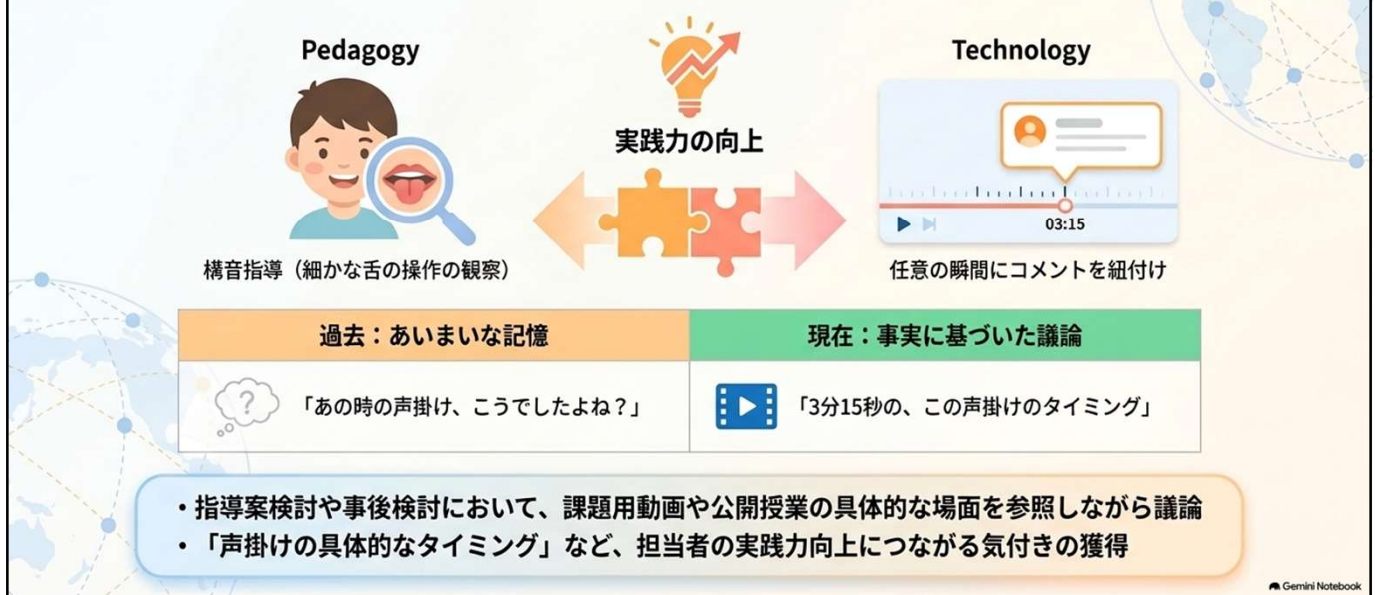
地域に点在し担当者も少ない「ことばの教室」で、時間・場所の制約を受けない動画を介したオンライン授業研究を実施



15

【視点3】 担当者同士の連携

あいまいな記憶に頼らない具体的な場면을起点とした、話し合いの実現



16

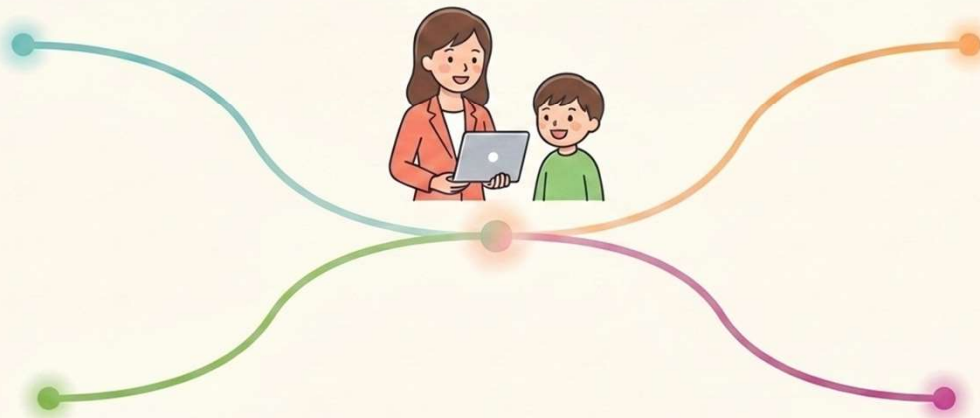
参考資料

2025年度 全特連 研修・研究活動支援事業 報告書



17

Ⅲ 成果と今後の課題



Gemini Notebook

18

【成果】教育DXが克服した制約と効果

ICT活用による「地理的制約の克服」と、既存のGIGA環境を中心に「家庭学習の質の保証」

広域連携：距離を越えた専門知の共有



- ・新潟県の広大なエリア（上中下越）全域での展開
- ・遠隔のST連携と担当者同士の学び合いを実現

反復練習：途切れない家庭学習のサイクル



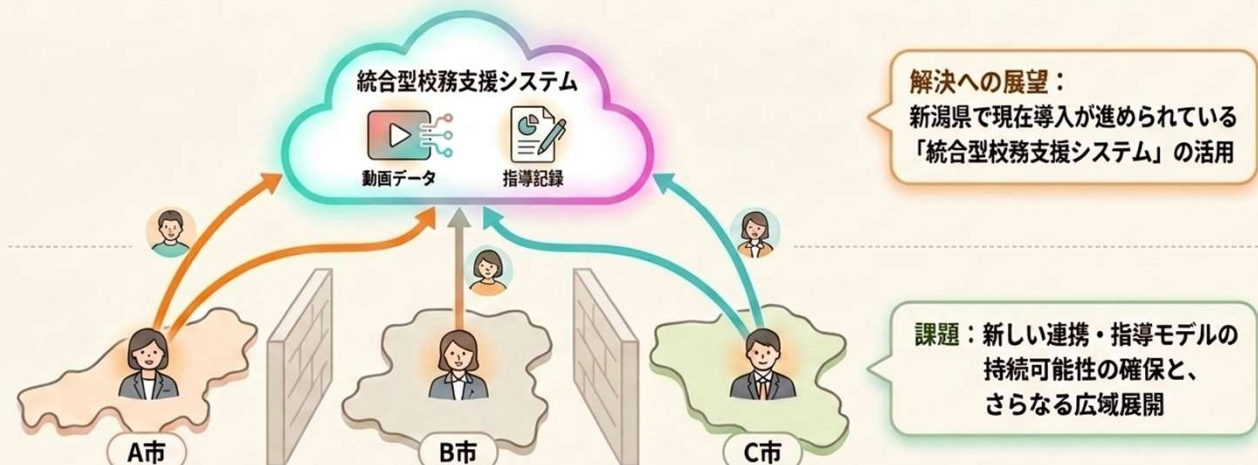
- ・学校と家庭に配備された既存のGIGA環境を最大限活用
- ・動画共有による日々の確実な反復練習モデルを構築

Gemini Notebook

19

【課題と展望】次世代校務DX環境の活用

新しい支援モデルを「持続」させ「より広域」へ展開するためのシステム活用



統合型システムにより市町村を超えた動画・指導記録の共有が可能になり、連携がさらに円滑化される期待

Gemini Notebook

20

【展望】「第4の連携先」としての生成AIの活用

専門家が不在の場面においても担当教員をサポートする「仮想的な同僚」の可能性

- 専門家（ST）が近くにいない場面でも、
教員を常時サポートする「仮想的な同僚」
「第4の連携先」としての位置づけ

実際の指導事例を対象に、
回答の妥当性や現時点での限界を
含めて今年度の実践で検証中



専門家（ST）が近くにいない場面でも、教員を常時サポートする「第4の連携先」としての位置づけ

Gemini Notebook

21

参考資料（JAET高知・香美市大会用原稿）

外部専門家との事例を通じた
対話的な学びの場の構築と
生成A I 活用の検証



上記の資料は、2026年10月末まで公開予定です。

22